

医療費分析結果報告書（概要）

- 令和2年度 -

【1 被保険者の状況】

○被保険者数（年度平均）は404,005人であり、前年度に比べて0.52%減少したが、組合員数は前年度に引き続き増加し、増加率は0.77%である。家族数は△2.16%と依然として減少が続いている。（1頁表-1）

組合健保は、前年度から被保険者数が+0.57%、被扶養者数が△1.69%である。

○被保険者の年齢階級別割合では、50歳代が19.52%と最も高い。（2頁表-2）

組合健保と比較すると、50歳以降の年代で全国土木が高くなっている。

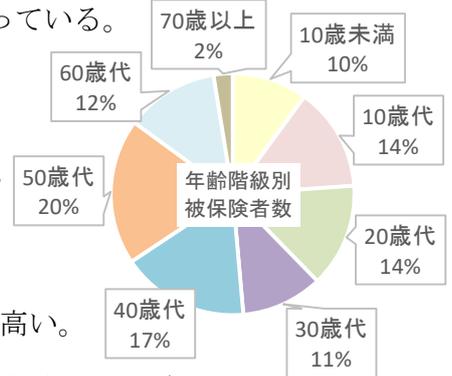
○平均年齢は、37.5歳（組合員45.8歳、家族29.7歳）である。

（2頁表-3）

組合健保の平均年齢は35.5歳であり、全国土木が2.0歳高い。

○前期高齢者は29,530人であり、前年度に比べて4.05%増加し、加入率は7.31%となっている。（4頁表-4）

組合健保の加入率は3.44%であり、全国土木が3.87ポイント高い。



○扶養率は1.05人で、前年度に比べて3.13%減少している。（5頁表-5、6）

組合健保の扶養率は0.74人であるが、組合健保より扶養率が高い理由は、①組合員の男性割合が85.4%と高いため、②組合員と同一世帯であれば収入の多寡にかかわらず家族被保険者となるためと推察される。

【2 医療費の状況】

○総医療費は約714億円であり、新型コロナの影響のため前年度に比べて4.39%減少している。診療区分別の内訳は、医科入院外が40.62%と最多であり、組合員・家族別にみると、組合員（51.10%）が家族（48.90%）より2.20ポイント高い。（7頁表-7、8頁表-8 図-10）

特に「呼吸器系の疾患」に係る医療費の減少が大きく、前年度に比べて17.5億円（35.7%）減少している。（58頁）

○1人当たり医療費は、新型コロナの影響のため前年度に比べて3.89%減少している。診療区分別に前年度と比較すると次表のとおりである。（9頁表-9、12頁表-11）

区分	1人当たり医療費合計	医科入院	医科入院外	歯科	調剤	(医科入院外+調剤)
令和2年度	176,794円	47,622円	71,035円	20,923円	36,472円	107,506円
令和元年度	183,948円	50,264円	74,822円	20,882円	37,369円	112,192円
増減額	△7,154円	△2,642円	△3,787円	41円	△897円	△4,686円
増減率	△3.89%	△5.26%	△5.06%	0.20%	△2.40%	△4.18%

※合計には訪問看護療養費を含む。

○令和元年度の1人当たり医療費では、組合健保との差が22,278円（13.78%）あるが、本人割合、男女割合、年齢構成の影響を取り除くと、その差は△793円（△0.49%）となる。（10頁表-10）その他の指標についても、構成要素を揃えると組合健保と概ね同水準となる。（13頁表-12）

※比較対象とする組合健保資料の公表時期の関係から令和元年度で比較した。

1人当たり医療費			本人割合、男女割合、年齢構成を揃えた1人当たり医療費		
全国土木	組合健保	差(率)	全国土木	組合健保	差(率)
183,948円	161,670円	22,278円(13.78%)	160,877円	161,670円	△793円(△0.49%)

【3 疾病の状況】

○疾病分類別に医療費（歯科の疾患を除く）を金額順にみると、入院では組合員、家族ともに「新生物」（組合員 26.1 億円、家族 18.7 億円）が最も高い。入院外でも組合員、家族ともに「新生物」（組合員 22.1 億円、家族 18.6 億円）が最も高い。（47 頁 表-45 ～ 50 頁 表-48）

各区分で金額が最も高い年齢階級と疾病分類は次表のとおりである。

区 分	入 院			入 院 外		
	年齢階級	疾病分類	金 額	年齢階級	疾病分類	金 額
組合員	65 歳～69 歳	新生物	5.6 億円	60 歳～64 歳	循環器系の疾患	4.8 億円
家 族	0 歳～4 歳	周産期に発生した病態	5.8 億円	0 歳～4 歳	呼吸器系の疾患	5.1 億円

○令和元年度の疾病分類別 1 人当たり医療費は、①新生物（20,729 円）、②循環器系の疾患（17,259 円）、③呼吸器系の疾患（12,069 円）の順に高い。（51 頁 表-49 ～ 53 頁 表-51）

組合健保と比較し全国土木との差が最も大きい疾患について、年齢構成の影響を除いて比較すると次表のとおりである。

区 分	疾病分類	1 人当たり医療費			年齢構成を揃えた 1 人当たり医療費		
		全国土木	組合健保	差 (率)	全国土木	組合健保	差 (率)
入 院	循環器系の疾患	9,065 円	6,556 円	2,509 円(38.27%)	6,705 円	6,556 円	149 円(2.27%)
入院外	循環器系の疾患	8,194 円	5,411 円	2,783 円(51.42%)	6,030 円	5,411 円	619 円(11.43%)

○令和元年度の前期高齢者の疾病分類別 1 人当たり医療費は、医科入院は「新生物」（50,211 円）、医科入院外は「循環器系の疾患」（36,604 円）が最も高い。（54 頁 表-52）

組合健保と比較し全国土木との差が大きい上位 3 疾患は次表のとおりである。

疾病分類	入 院			疾病分類	入 院 外		
	全国土木	組合健保	差 (率)		全国土木	組合健保	差 (率)
総 数	161,642 円	147,925 円	13,717 円 (9.27%)	総 数	187,207 円	174,830 円	12,377 円 (7.08%)
新生物	50,211 円	45,059 円	5,152 円 (11.43%)	循環器系の疾患	36,604 円	31,764 円	4,840 円 (15.24%)
循環器系の疾患	41,674 円	38,272 円	3,402 円 (8.89%)	新生物	36,434 円	33,218 円	3,216 円 (9.68%)
消化器系の疾患	12,311 円	10,200 円	2,111 円 (20.70%)	内分泌、栄養 及び代謝疾患	26,020 円	23,014 円	3,006 円 (13.06%)

○令和元年度の前期高齢者の入院医療費の疾病分類別新 3 要素分析をみると、100 人当たり新規入院件数は「新生物」（5.31 件）が最も多く、1 入院当たり医療費は「精神及び行動の障害」（311.7 万円）が最も高い。（55 頁 図-73）

各指標において、組合健保と比較し全国土木との差が大きい上位 3 疾患は次表のとおりである。

疾病分類	100 人当たり新規入院件数			疾病分類	平均在院日数		
	全国土木	組合健保	差		全国土木	組合健保	差
新生物	5.31 件	4.39 件	0.92 件	精神及び行動の障害	208 日	164 日	44 日
消化器系の疾患	2.65 件	2.25 件	0.40 件	神経系の疾患	24 日	38 日	△14 日
循環器系の疾患	2.99 件	2.68 件	0.31 件	腎尿路生殖器系の疾患	11 日	14 日	△3 日
疾病分類	1 入院当たり医療費			疾病分類	1 日当たり医療費		
	全国土木	組合健保	差		全国土木	組合健保	差
精神及び行動の障害	311.7 万円	257.8 万円	53.9 万円	腎尿路生殖器系の疾患	55,737 円	48,697 円	7,040 円
神経系の疾患	84.6 万円	113.7 万円	△29.1 万円	神経系の疾患	34,772 円	30,040 円	4,732 円
損傷、中毒及びその他の外因の影響	91.4 万円	105.9 万円	△14.5 万円	消化器系の疾患	58,080 円	54,578 円	3,502 円